

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 25日

事業所名 療育支援サカセル ペンタス

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|------------------------------------------------------------|----|-----|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 子どもの特性に合わせ、スペースの確保や場所分けをしています。 | 今後クールダウンできるスペースをパーティションなどを使用し確保することを検討していきます。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 配置基準人員を満たしています。 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | ○ | | 教室の構造上、バリアフリーにできない箇所や改善できない箇所については見学時や契約時に事業所内を見ていただいています。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 職員一人一人が目標設定を行い、日々の業務の改善につなげています。 | 職員全員が意見を発言できる環境を作っています。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 毎年アンケートを調査を実施し、業務改善につなげています。 | 結果について職員間で話し合い、安心して過ごせる環境を整えてまいります。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | ホームページにて公開しています。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 現在は導入していませんが、今後第三者による外部評価の導入を検討します。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 研修に積極的に参加しています。参加した職員は内容を職員全員に共有し、資質の向上に努めています。 | |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | アセスメントシートを使用し、状態や特性を把握するように努め、子どもや保護者のニーズや課題に沿った計画を作成しています。 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 事業所内にて統一されたアセスメントシートを使用しています。 | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 職員全員で話し合いながら活動プログラムを立案しています。 | 職員全員が同じ支援ができるよう、支援状況を常に共有してまいります。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 食育教室、体幹トレーニング、SST、リズム体操、工作デイ、レクデイなどの多様な活動を取り入れています。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | 活動時間の長さを考慮して、子どもに必要な支援内容を考え、設定しています。 | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | 子どもにとって必要な支援を個別活動と集団活動を組み合わせ提供できるように考慮して、作成しています。 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 毎朝、必ずミーティングを実施し、活動内容や支援目標を確認し、安全に遂行できるよう見通しを立てています。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 日々、気付いた点を職員同士で話し合い、振り返りを行い次の支援に活かしています。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 毎日、記録を残し、記録を支援の検証・改善につなげています。また職員間の認識の統一にも役立っています。 | |
| | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 定期的にモニタリングを行い、達成度を検証し、計画の継続や変更を判断し、決定しています。 | |
| | 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | ○ | | SSTや創作活動、余暇の提供など組み合わせさせて行っています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 担当者会議には、日々直接支援にあたっている職員が参画し、子どもの様子を的確にお伝えできるように努めています。 | |
| | 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | 下校時に学校の職員と連携を図り、安心して来所出来るようにしています。 | |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | ○ | | 現在、看護師が常駐していない為、医療ケアが必要な子どもの利用はありません。 |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | | ○ | | 必要に応じて連携を図れるよう努めてまいります。 |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | | ○ | | 該当する子どもがいない為、行っておりませんが、今後必要に応じて情報提供に努めてまいります。 |
| | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 様々な専門分野の研修を積極的に受講しています。 | |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | 今後、交流の機会を設けるよう努めてまいります。 |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | ○ | | 研修やグループワークに積極的に参加しています。 | |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 子どもの様子を送迎時にお伝えしたり、連絡ノートに記載したりすることで保護者との共通理解を図っています。 | |
| | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | ○ | | 事業所内で、効果的だった支援方法を連絡ノートなどでお知らせしています。 | 研修等に積極的に参加し、知識を深め、全ての職員が保護者へ適切な助言ができるよう努めてまいります。 |
| | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 運営規程や利用者負担等については契約時にお伝えし、日々の支援内容については連絡ノートにてお伝えしています。また定期的にモニタリングを行い、支援計画の内容を見直し、更新した計画を保護者へお伝えしています。 | |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 連絡ノートに記載された相談内容や送迎時に相談されたことについてできる限り対応しています。 | 状況に応じて、面談の機会を設けるなど、保護者が相談しやすい環境作りに努めてまいります。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | 今後、機会を設けることを検討してまいります。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 苦情受付窓口について契約時に保護者へ周知しています。苦情があった際は、真摯に受け止め、職員全員で話し合い問題解決や改善に努めています。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | 月に1回、活動内容や行事予定等を記載したお便りを発行しています。また必要があればその都度連絡ノートにてお知らせしています。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | 書類は鍵付きのキャビネットにて管理し、データは自社サーバーにて管理しています。SNSの情報発信の際も十分に注意しています。 | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 子どもには絵カードやホワイトボードを使用するなど特性に合わせて配慮しています。保護者へは連絡ノートや送迎時に情報伝達を行い意思疎通を図っています。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | 庭のプランターの野菜や花植えのイベントにボランティアの方に来ていただき一緒に活動を行っています。 | 今後、さらにイベント活動を企画し、地域住民の方との交流を図ってまいります。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | マニュアルを完備し、都度見直しを行い職員に周知しています。保護者へは契約時や変更時にお伝えしています。 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 年2回(6・11月)の避難訓練をおこなっています。実施日や内容についてはお便りにてお知らせしています。 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 虐待防止委員会を設け、年2回研修を開催しています。 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | やむを得ず身体拘束を行う要件については、契約時に保護者へ十分に説明しています。 | 現在、該当する子どもがいませんので計画には記載していません。今後、身体拘束が必要な子どもが発生した場合は、組織的に判断・決定し、保護者ご了解のもと、放課後等デイサービス計画に記載してまいります。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | | ○ | | 現在、該当する子どもはいません。必要に応じて対応してまいります。 |
| 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | ヒヤリハットの重要性を認識し、都度共有、改善し、危機管理に努めています。 | | |